



「夢に出るまで集中を」

石田副学長 講演 研究活動振り返る

豊橋技科大

豊橋技術科学大学（柳佳之学長）は20日、社会や企業をけん引できるリーダーを育成する「ティーラimermaid・バトンゾーン教育プログラム」として講演会を

講演する石田副学長

開催。石田誠副学長が学生や教職員らを中心に、「マテリアルインテグレーション」について講演を行った。

石田副学長はLSI（集積回路）とMEMS（微小電気機械システム）を融合したスマートマイク

ロセンサー研究の世界の権威。講演では、自身の研究活動を振り返った後、開学間もない同大学に赴任してから30年に及ぶ、研究施設の形成や人材育成について語った。センシング技術の国内を代表する研究拠点に発展

していく、固体機能デバイス研究施設やベンチャービジネスラボラトリーなどの設立経緯に触れ「ねばってあきらめずに予算をとりに行った」と当時のエピソードを紹介した。

学生らには対しては「訪れたチャンス

を見過ごさず、絶えずアンテナを張っておく。あきらめず長く続ける一方で別の展開を考える。自分の頭でとことん考え、いつしか別なとぎにアイデアが浮かんでくる。研究でも遊びでも夢に出るまで集中していれば本物。その時のベストワークのみを考えて行動し、結果はあとからついてくる」とアドバイスを送った

（石川正司）